整理No.	87

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	541-03	基本施策	力強い商業への転換	所管部局	商工観光部
施　策　名	地域商業の強化と環境整備			主担当課	産業政策課
				関係部局課	
施策の目標	地域の商店・商店街の経営力強化や商業環境の整備を支援し、地域と密着した利便性の高い商業の展開を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
商業施設の郊外化、コンビニエンスストア等による長時間営業やインターネットを活用した通信販売など、販売形態や消費行動が大きく変化する中、地域の商店・商店街が衰退傾向にあることで、高齢者を中心とした買い物弱者の出現、商店街を中心としたコミュニティ機能の弱体化、あるいは商店街街路灯が担っている地域の安心・安全機能までが低下してきている。 商店街の持つ多面的な機能を維持する点からも、地域特性や消費者ニーズを考慮した魅力的で個性的な地域商業に転換していく必要がある。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
商店街街路灯省エネ化建替・改修件数（累計）	件	33（＊）	35	39				52
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
商店街環境整備事業補助金を活用してLED化するための建替・改修を実施した件数	（＊）H23年度数値は、ｸﾞﾘｰﾝﾆｭｰﾃﾞｨｰﾙ基金を活用して集中的に実施したもの 持続可能な商店街整備の状況を図る指標として設定するもの。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
中小企業振興資金融資実行率	%	90	84	81				90
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
市が実施している「中小企業振興資金」の融資枠に対する年度末融資残高の割合	同資金は融資を通じて、経営上の資金繰りのみならず創業、研究開発、環境対策や市内への進出等の取組を促進する狙いもあることから、一定以上の制度資金利用を指標とするもの。							

25年度の取組内容実績	
	○商店街環境整備事業　商店街街路灯のLED化支援及び電灯料の助成、商店街が設置するイベント用電源設備の設置補助等を実施した。 ○中小企業振興資金融資　運転資金、設備資金、緊急借換え資金、創業支援資金等の融資あっ旋を行い、それに伴う保証料補給金の交付等を実施した。 ○商工団体育成補助金　商工業の振興を目的とする各団体の活動に係る運営費に対して補助金を交付した。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	概ね順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	・商店街の持続可能な環境整備として街路灯に関する支援を実施しているが、環境保護の時代趨勢に対応し、H22・23年度の2年間、国のｸﾞﾘｰﾝﾆｭｰﾃﾞｨｰﾙ基金を活用して10分の８の補助率を適用することでインセンティブを発揮させ、更にH24～26年までは市単独事業として10分の６の補助率を適用し、更なる省エネ化の促進を図っている。 ・融資制度については、一般的に資金借入が難しいと言われる小規模事業者支援と経済波及効果の大きい設備投資拡大を目的に資金の金利・借入条件等の見直しを行い、中小企業のニーズに応じた事業展開を行っている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	・商店街街路灯の省エネ化は、72.2%の商店街で実施された。 ・融資制度については、市制度（長期資金）の借入件数は前年比104.19%、融資額は前年比96.32%と増加傾向に転じており、目標達成に向けて順調に進んでいる。 ・商工団体については今後ますます連携・協力の必要性が高まってくるが、新幹線延伸・善光寺御開帳を控え官民一体となった「ウェルカム長野2015」等で積極的な連携が図られている。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	・街路灯省エネ化について補助率の上乗せをはじめてから４年目となり、上乗せの優遇を受けての省エネ化を行える商店会が少なくなってきている。 ・中小企業振興資金融資については、リーマンショックや東日本大震災といった特殊要因による借入額増加のため新規借入額を返済額が上回る状況が続き融資実行率は目標である90%は達成できていないが、単年度では目標達成に向けて順調に進んでいる。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	経済状況に応じた融資制度の見直し	幅広く情報収集に努め、中小企業者等の資金ニーズを的確に把握し、融資制度設計へ反映させる。
2	商工団体への補助のあり方	平成27年度に商工会議所等への県の補助制度が見直されることから、その内容や商工会議所等に与える影響等を注視しながら市の補助のあり方についても検討し、それら団体と協議した上で必要に応じて見直していくこととしたい。
施策展開の方向性（H26年度以降）	施策を形成する各事業の基本的なフレームは継続するが、ハード面での環境整備は必要最小限にとどめ、主に個店の魅力向上に関する施策などソフト面の充実によって商店街の活性化を図っていくこととしたい。 融資制度については、継続した見直しを実施しながら中小企業の活動を支えていきたい。	

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	商店街環境整備事業補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 産業政策課	・商店街街路灯のLEDへの建替・改修 ・商店街街路灯の電灯料の一部助成 ・電源設備設置 ほか	平成25年度実績 ・街路灯省エネ改修　4件　5,823千円 ・電灯料助成　53件　4,542千円 ・電源設備　2件　830千円
2	中小企業振興資金融資 ［補助金・金銭給付事業］ 産業政策課	・金融機関への預託金 ・貸付に伴う保証料補給金	平成25年度実績 ・預託金　6,211,500千円 ・保証料補給金　206,507千円
3	商工団体育成補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 産業政策課	・商工業の振興を目的とする団体（商工会議所、商工会等）への活動・運営費補助金	・長野商工会議所　42,829千円 ・長野市商工会　44,404千円 ・長野商店会連合会　7,301千円 ・県中小企業団体中央会長野支部　900千円　ほか
4			

番号	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成（進捗）状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	B	A	C	B	B	継続	115,724	16,868	16,664	18,059
2	B	A	B	B	B	継続	6,883,060	6,700,223	6,439,756	8,411,963
3	B	A	A	A	B	継続	105,878	105,378	104,958	105,063
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26